

後部眼瞼炎に対するアジスロマイシン点眼液の安全性と有効性の検討

英文タイトル

The safety and efficacy of azithromycin eye-drops on patients with posterior blepharitis

ショートタイトル

後部眼瞼炎に対するアジマイシン点眼の有効性の検討

有田玲子 (LIME 研究会、伊藤医院)、福岡詩麻 (LIME 研究会、大宮はまだ眼科西口分院)

目的：アジスロマイシン点眼 (アジマイシン点眼液 1%、以下 AZM 点眼) は *P.acnes* に高い感受性をもつマクロライド系抗菌薬である。本点眼液は抗菌薬のみならず、抗炎症作用があることも示唆されており、眼瞼への移行性・滞留性が高い薬剤であり、海外では後部眼瞼炎への有効性の報告が多くなされてきた。今回、AZM 点眼の本邦における安全性と有効性を検討した。

方法：対象は 2019 年 9 月から 10 月までの間に伊藤医院を受診した後部眼瞼炎患者 25 名 25 眼。検査項目は眼自覚症状の問診 (SPEED スコア)、涙液油層厚、眼瞼縁所見、非侵襲的涙液層破壊時間 (Non-invasive break-up time, NIBUT)、涙液層破壊時間 (Tear film break-up time, BUT)、角結膜上皮障害、涙液メニスカス高、マイバムグレード、マイボスコア、涙液浸透圧、シルマーテストで、処方前と処方 2 週間後に行った。また、点眼の副作用についても検証した。

結果：処方前と比べて処方 2 週間後に、眼自覚症状、涙液油層厚、眼瞼縁所見、NIBUT、BUT、角結膜上皮障害、マイバムグレード、浸透圧が有意に改善した (各 $p < 0.001$)。25 名のうち 18 名が、初回点眼時に眼刺激感と霧視を訴えたが、3 日目から改善した。2 名が便秘を報告した。

結論：AZM 点眼は眼瞼の炎症、涙液の油層の質・量および涙液の安定性を改善した。AZM 点眼は眼刺激感や霧視を訴えるが、数日で改善が見込めた。AZM 点眼は後部眼瞼炎に対して有効な点眼液と考えられた。